

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6212481号
(P6212481)

(45) 発行日 平成29年10月11日(2017.10.11)

(24) 登録日 平成29年9月22日(2017.9.22)

(51) Int.Cl.

F I

G06Q 20/40 (2012.01)

G06Q 20/40 330

G06Q 20/08 (2012.01)

G06Q 20/08 300

請求項の数 6 (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2014-508430 (P2014-508430)
 (86) (22) 出願日 平成24年4月19日(2012.4.19)
 (65) 公表番号 特表2014-515149 (P2014-515149A)
 (43) 公表日 平成26年6月26日(2014.6.26)
 (86) 国際出願番号 PCT/US2012/034251
 (87) 国際公開番号 W02012/148773
 (87) 国際公開日 平成24年11月1日(2012.11.1)
 審査請求日 平成27年3月24日(2015.3.24)
 (31) 優先権主張番号 201110106712.8
 (32) 優先日 平成23年4月27日(2011.4.27)
 (33) 優先権主張国 中国 (CN)

(73) 特許権者 510330264
 アリババ・グループ・ホールディング・リ
 ミテッド
 ALIBABA GROUP HOLDI
 NG LIMITED
 英国領、ケイマン諸島、グランド・ケイマ
 ン、ジョージ・タウン、ワン・キャピタル
 ・プレイス、フォース・フロア、ピー・オ
 ー、ボックス 847
 (74) 代理人 110001243
 特許業務法人 谷・阿部特許事務所

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 オンライン決済方法およびデバイス

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータが実行可能な指示を記憶する1つ以上のコンピュータが読み出し可能な媒体であって、該指示は、1つ以上のプロセッサによって実行されたときに、

第1のユーザと関連付けられるデバイスから、前記第1のユーザによって特定される、取引に関する第1の決済額に関連する第1の限度額及び前記取引に関する第2の決済額に関連する第2の限度額を受け取ることであって、

前記第1の限度額は、前記第1の決済額以上であり、前記第1の限度額は前記第2の限度額未満であり、前記第2の決済額は前記取引に関する前記第1の決済額未満である、受け取ることと、

中間口座を生成することと、

第2のユーザによって指定される口座から、第1の資金額を受け取ることと、

前記第1の資金額が、前記第1の限度額以上であると判定することに応じて、前記第1の資金額を、前記中間口座の前記第2のユーザの口座残高に指定することと、

前記第1の資金額、前記第1の限度額、及び前記第2の限度額の関係によって、前記第2のユーザの前記取引に関する、特定の決済額を決定することであって、

前記特定の決済額を決定することは、

前記第1の資金額が、前記第1の限度額以上であり、前記第2の限度額未満であると判定することに応じて、前記特定の決済額が前記第1の決済額であると判定することと、

前記第1の資金額が、前記第2の限度額以上であると判定することに応じて、前記特定

の決済額が前記第 2 の決済額であると判定することと

を含み、

前記第 2 のユーザと関連付けられるデバイスから、前記取引に関する決済要求を受け取ることと、

前記中間口座から前記第 1 のユーザによって指定される口座に、前記特定の決済額を転送することと、

を備える操作を行う、1 つ以上のコンピュータが読み出し可能な媒体。

【請求項 2】

前記操作はさらに、

前記特定の決済額の前記転送に応じて、前記第 2 のユーザの前記口座残高を更新することを含む、請求項 1 に記載の 1 つ以上のコンピュータが読み出し可能な媒体。

10

【請求項 3】

前記操作はさらに、

前記中間口座を補充するために、前記第 2 のユーザと関連付けられる前記デバイスから第 2 の資金額を受け取ることと、

前記第 2 のユーザの前記口座残高を更新することと、を含む、請求項 1 に記載の 1 つ以上のコンピュータが読み出し可能な媒体。

【請求項 4】

前記第 1 のユーザおよび前記第 2 のユーザは、前記中間口座へのいかなるアクセスも有しない、請求項 1 に記載の 1 つ以上のコンピュータが読み出し可能な媒体。

20

【請求項 5】

前記第 1 のユーザと関連付けられる前記デバイスは、モバイルデバイスであり、前記第 1 の限度額または前記第 1 の決済額は、ショートメッセージングシステム (SMS) メッセージで特定される、請求項 1 に記載の 1 つ以上のコンピュータが読み出し可能な媒体。

【請求項 6】

前記操作はさらに、

前記受け取られた決済要求に応じて、前記第 2 のユーザの前記口座残高の一部分の凍結を解除することであって、前記一部分は、前記特定の決済額に対応する、凍結を解除することを含む、請求項 1 に記載の 1 つ以上のコンピュータが読み出し可能な媒体。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

関連特許出願の相互参照

本出願は、2011 年 4 月 27 日に提出された中国特許出願第 201110106712.8 号、「A Method and Device for Online Payment」に対する優先権を主張するものであり、該出願は、参照によりその全体が本明細書に組み込まれる。

【0002】

この開示は、コンピュータ技術の分野に関する。具体的には、この開示は、オンライン決済のための方法およびデバイスに関する。

40

【背景技術】

【0003】

ネットワーク技術の絶え間ない発展に従って、オンライン取引は、商取引を行うための重要な手段になってきた。オンライン取引は、オンライン決済システムを含み得、該システムは、コンピュータネットワークシステムにおける決済部分を指し得る。この決済システムを通して、購入者は、オンライン取引プロセスを開始または完了する。オンライン決済システムは、スタンドアロンシステムとして使用することができ、該システムは、決済操作を完了するために、オンライン取引システムから支払指示を受け取る。オンライン決済システムはまた、オンライン取引システムの構成要素としても使用することができ、該構成要素は、オンライン取引の決済操作を完了する。しかしながら、従来のオンライン決

50

済システムは、いくつかの課題（例えば、非効率性およびセキュリティリスク）を提示し得る。例えば、システムは、購入者が単一の取引で販売者に多額の代金を支払うとき、または購入者が多数の取引において同じ商品もしくはサービスについて販売者に代金を支払うときに、取引を監視および制御することができない場合がある。

【発明の概要】

【0004】

この開示は、オンライン決済のための方法およびデバイスを提供する。サーバは、第1のユーザのデバイスから、アイテムに関わる商取引と関連付けられる決済限度額および決済額を特定する決済条件を受け取り得る。サーバは、次いで、この限度額および決済額に基づいて、中間口座を生成し得る。サーバはまた、第2のユーザによって指定される口座から、資金を受け取り得る。サーバは、この資金が限度額未満であるかどうかを判定し、そうでない場合、サーバは、その資金を中間口座の第2のユーザの口座残高に指定する。サーバは、次いで、第2のユーザによるアイテムの領収書を示す決済要求を受け取った後に、中間口座から第1のユーザによって指定される口座に、対応する金額を転送し得る。

【図面の簡単な説明】

【0005】

詳細な説明は、添付の図面を参照して記載される。異なる図面における同じ参照番号の使用は、同様または同一の項目を示す。

【図1】電子商取引およびオンライン決済をサポートする、実例となる環境のブロック図である。

【図2】オンライン決済を使用して取引を行うための、第1の実例となる過程のフロー図である。

【図3】中間口座表の第1の実施例を示すための、実例となる表のグラフである。

【図4】中間口座表の第2の実施例を示すための、別の実例となる表のグラフである。

【図5】中間口座表の第3の実施例を示すための、さらに別の実例となる表のグラフである。

【図6】中間口座表の第4の実施例を示すための、さらに別の実例となる表のグラフである。

【図7】オンライン決済を使用して取引を行うための、第2の実例となる過程のフロー図である。

【図8】残高返済の第1の実施例を示すための、実例となる表のグラフである。

【図9】残高返済の第2の実施例を示すための、別の実例となる表のグラフである。

【図10】図1のコンピューティング環境に含まれる種々の構成要素の実例となるコンピューティングデバイスのブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【0006】

オンライン決済システムを使用して電子取引を行うための技術が開示される。本明細書で説明される技術によれば、販売者は、一時口座または中間口座の限度額、および取引に関わる商品またはサービスの決済額を指定し得る。取引サーバは、限度額および決済額に基づいて、中間口座を作成する。購入者は、購入者が中間口座に資金を割り当てるときに、購入者が限度額および決済額に同意することを示す。取引サーバは、次いで、割り当てられた資金が限度額以上である場合、該割り当てられた資金を購入者の口座残高として指定し得る。取引サーバは、次いで、販売者が商品またはサービスを購入者に提供したときに、口座残高から販売者に、決済額に等しい金額を割り当て得る。取引サーバは、取引の後に、購入者の口座残高を凍結し得る。

【0007】

便宜上、この開示において、第1のユーザは、一般的に販売者を指し、第2のユーザは、一般的に購入者を指す。口座残高は、中間口座の購入者の口座残高を指す。

【0008】

図1は、電子商取引およびオンライン決済をサポートする、実例となる環境100のブ

10

20

30

40

50

ロック図である。環境 100 は、決済サーバ 102 と、購入者サーバ 104 と、販売者サーバ 106 とを含む。決済サーバ 102 は、高度な決済ビジネスに対する資金の安全性を保证するために、購入者サーバ 104 および販売者サーバ 106 から独立している。決済サーバ 102 は、データベース 110 に記憶される中間口座 108 を含み、それを管理し得る。中間口座 108 は、購入者と販売者との間の取引と関連付けられる情報を含む、中間口座表を含み得る。購入者サーバ 104 も販売者サーバ 106 も、中間口座 108 へのアクセスを有しない。

【0009】

購入者 112 は、購入者デバイス 116 を介して、購入者サーバ 104 上の購入者指定口座 114 から中間口座 108 に、資金を割り当て得る。同様に、販売者 118 は、販売者デバイス 122 を介して、中間口座 108 から販売者サーバ 106 上の販売者指定口座 120 に、資金を受け取り得る。購入者サーバ 104 および販売者サーバ 106 は、それぞれ、購入者 112 および販売者 118 の指定口座を管理する。購入者デバイス 116 および販売者デバイス 122 は、ディスプレイを含み、かつネットワーク 124 (複数可) に接続して決済サーバ 102 および購入者サーバ 104 または販売者サーバ 106 と情報を交換することができる、携帯電話、スマートフォン、タブレットコンピュータ、ラップトップコンピュータ、または任意の他のモバイルコンピューティングデバイスであり得る。いくつかの実施形態では、購入者 112 も販売者 118 も、中間口座 108 へのアクセスを有しない。

【0010】

いくつかの実施形態において、購入者指定口座 114 は、購入者デバイス 116 を介して、購入者 112 によって扱われる、および / またはアクセスされる口座であり得る。例えば、購入者指定口座 114 は、購入者のオンラインバンク口座を含み得、購入者サーバ 104 は、オンラインバンクサーバであり得る。販売者指定口座 120 は、販売者デバイス 122 を介して、購入者 112 によって扱われる、および / またはアクセスされる口座であり得る。例えば、販売者指定口座 120 は、販売者のオンラインバンク口座を含み得、販売者サーバ 106 は、オンラインバンクサーバであり得る。

【0011】

いくつかの実施形態において、販売者 118 は、限度額 126 を含む決済条件を決定し得、これは、1 つ以上の取引に対する購入者の 1 回限りの割り当てであり得る。決済条件はまた、商品および / またはサービスに対応する決済額 128 も含み得る。販売者デバイス 122 は、次いで、決済サーバ 102 に決済条件を伝送し得る。決済サーバ 102 は、次いで、決済条件に基づいて、中間口座 108 を生成し得る。例えば、決済サーバ 102 は、単一の差引額を、限度額 126 と関連付けられる決済額 128 に指定し得る。

【0012】

いくつかの実施形態において、購入者 112 は、購入者が商品および / またはサービスの購入を所望し、その商品および / またはサービスに対する限度額 126 および決済額 128 に同意するときに、中間口座 108 に資金 130 を割り当て得る。例えば、購入者 112 は、購入者指定口座 114 から中間口座 108 に、限度額 126 に対応する資金 130 を転送し得る。資金 130 を受け取った後に、決済サーバ 102 は、次いで、その金額を、中間口座 108 と関連付けられる購入者の口座残高に指定し得る。決済サーバ 102 は、購入者 112 が商品および / またはサービスを受け取った後に、決済額 128 に対応する決済 132 を販売者指定口座 120 に転送し得る。決済サーバ 102 は、中間口座 108 の購入者 112 の口座残高を更新し得、次いで、口座残高を凍結し得る。

【0013】

決済サーバ 102 は、オンライン取引システムから独立し得るか、またはオンライン取引システムの一部であり得る。例えば、オンライン取引システムは、取引が成功裏に行われた後に購入者の決済要求に応じて、決済 132 を販売者指定口座 120 に転送するために、決済サーバ 102 に指示を送ることができる。

【0014】

図2は、オンライン決済を使用して取引を行うための、実例となる過程200のフロー図である。202で、決済サーバ102は、取引と関連付けられる決済条件を受け取り得る。決済条件は、限度額126と、決済額128と、決済サーバ102と関連付けられる販売者IDと、販売者指定口座120と関連付けられる情報とを含み得る。いくつかの実施形態において、販売者118は、例えば購入者のユーザ名およびパスワードの組み合わせを使用して、決済サーバ102にログインし得るか、または初回の場合、決済サーバ102によって提供されるサービスに登録し得る。いくつかの実施形態において、決済サーバ102は、販売者の識別子を認証し得、次いで、特定の販売者IDを販売者118に与え得る。いくつかの実施形態において、限度額126は、決済額128のN倍よりも大きくなり得、ここで、Nは、販売者118または決済サーバ102によって予め定められ得る。

10

【0015】

204で、決済サーバ102は、決済額128および限度額126に基づいて、一時口座または中間口座108を生成し得る。いくつかの実施形態において、販売者118は、決済サーバ102によって実現されるウェブサイトにログインし得、次には、ウェブページを提供する。販売者118は、対応する情報をウェブページに追加し得る。例えば、販売者118は、「Xとして販売者ID」、「1000として限度値」、「100として決済値」、「abcとして販売者の指定口座情報」を入力し得る。いくつかの実施形態において、販売者118は、中間口座108を生成するための要求を送るために、ショートメッセージングシステム(SMS)および他の無線通信方法を使用し得る。例えば、販売者118は、決済条件を含むSMSメッセージを構成し得、そして、該SMSメッセージを、販売者デバイス122を介して、SMSゲートウェイを使用して決済サーバ102に送り得る。

20

【0016】

決済サーバ102が中間口座108を作成するための販売者の要求を受け取ると、決済サーバ102は、中間口座108を生成し、決済条件を中間口座108の対応するフィールドに追加し得る。例えば、図3は、実例となる中間口座表300を示し、販売者118と関連付けられる情報(例えば、「X」としての販売者ID、および販売者指定口座120「abc」)を含む。

【0017】

206で、決済サーバ102は、資金130を購入者112の口座残高に指定し得る。いくつかの実施形態において、決済サーバ102は、購入者デバイス116によって伝送される資金130を受け取り得、資金130が限度額126以上であると判定し得る。決済サーバは、次いで、資金130を購入者の口座残高に指定し得る。

30

【0018】

購入者112は、決済サーバ102によって実現されるウェブサイトで登録し得、決済サーバ102によってIDが与えられ得る。決済サーバ102が中間口座108を生成した後に、販売者118は、ショッピングウェブサイトの製品情報を発行し得る。製品情報は、販売者IDと、販売者118が提供する製品と、サービスコンテンツと、該製品に対応する限度額126および決済額128とを含み得る。

40

【0019】

いくつかの実施形態において、購入者112は、オンラインショッピングプラットフォームを通して販売者118と通信し得、次いで、販売者118の要求に応じて、購入者指定口座114から中間口座108に、資金130を転送し得る。例えば、販売者118は、限度額126および決済額128を含む決済条件へのリンクをショッピングウェブサイトを追加し得る。リンクは、購入者112を販売者118に導き得、それらの通信を可能にし得る。

【0020】

決済サーバ102が、購入者112が中間口座108を補充したと判定した(すなわち、資金を割り当てた)後に、決済サーバ102は、購入者112の識別子を認証し得る。

50

認証成功の後に、決済サーバ102は、中間口座108から対応する情報を取り出し得る。例えば、決済サーバ102は、中間口座108（例えば、中間口座表300）から限度額126を読み出し得る。決済サーバ102は、次いで、資金130を限度額126と比較し得る。資金130が限度額126以上である場合、決済サーバ102は、資金130を中間口座の購入者の口座残高に指定し得る。決済サーバ102はまた、図4で示されるような中間口座表400を生成するために、中間口座表300を更新し得る。

【0021】

いくつかの実施形態において、中間口座108は、販売者118および購入者116に関連する情報、ならびに決済操作に関連する情報を記憶し得る。決済サーバ102が、多数の購入者が中間口座に資金を割り当て、該資金が対応する限度額以上であると判定した場合、決済サーバ102は、各購入者ID、中間口座の購入者の資金、および購入者IDと購入者の口座残高との対応する関係を別々に記録し得る。図5は、さらに別の実例となる口座表500を示す。図5で例示されるように、（購入者IDがY1およびY2である）2人の購入者が、中間口座に資金を割り当てる。

10

【0022】

208で、決済サーバ102は、購入者デバイス116によって伝送される決済要求134を判定し得る。例えば、購入者112が販売者によって提供される商品またはサービスを受け取る際に、購入者は、決済要求134を行うために、決済サーバ102によって実現されるウェブサイトにログインし得る。決済要求134を受け取った後に、決済サーバ102は、購入者112に確認要求を伝送し得る。決済サーバ102は、購入者112によって送られる確認に応じて、資金割り当て操作を実行し得る。例えば、決済サーバ102は、確認ウェブページを購入者112に提供し得、購入者112は、要求された情報（例えば、決済パスワード）を入力し得る。

20

【0023】

いくつかの実施形態において、購入者112が、SMSゲートウェイを介して、販売者によって提供される商品またはサービスを受け取る際に、購入者112は、SMSメッセージの形態で、決済サーバ102に決済要求134を送り得る。決済要求134を受け取った後に、決済サーバ102は、購入者112に確認SMSメッセージを返し得る。購入者112は、決済サーバ102に決済パスワードを含むSMSメッセージを送り返し得、次いで、決済サーバ102は、資金割り当て操作を実行し得る。例えば、決済サーバ102は、販売者サーバ106に決済132を伝送し得る。

30

【0024】

いくつかの実施形態において、購入者112は、無線周波数（RF）モードを使用することによって、決済要求134を送り得る。このような場合、販売者によって提供される商品またはサービスを受け取る際に、購入者112は、購入者のRFカードをRF読み出しデバイスに通し得る。RFカードは、購入者IDおよび販売者IDを含み得る。RF読み出しデバイスは、バックグラウンドサーバにこのID情報を伝送し得、次いで、決済サーバ102に決済要求134を送り得る。いくつかの実施形態において、RFカードは、この例示的な実施形態においてモバイルデバイスのRF構成要素であり得る。

40

【0025】

決済要求134が購入者IDを含み得るので、決済サーバ102は、中間口座表から購入者112の口座残高を検索し得る。いくつかの実施形態において、決済サーバ102は、複数の販売者について中間口座を生成し得る。このような場合、決済要求134は、決済サーバ102が購入者IDに基づいて販売者118の対応する中間口座を判定することが可能になるように、販売者IDを含み得る。いくつかの実施形態において、購入者112は、多数の販売者とのオンライン取引を同時に行い得る。このような場合、決済要求134は、複数の販売者と関連付けられる資金をどのように割り当てるのかを決済サーバ102に知らせるために、購入者IDおよび複数の販売者IDを含むことができる。

【0026】

210で、決済要求134を受け取った後に、決済サーバ102は、対応する金額を販

50

売者指定口座 1 2 0 へ転送し得る。いくつかの実施形態において、決済サーバ 1 0 2 は、決済要求 1 3 4 に基づいて購入者の口座残高を判定し得、購入者の口座が割り当てられるべき金額以上であるかどうかを判定し得る。その金額以上である場合、決済サーバ 1 0 2 は、対応する金額を販売者指定口座 1 2 0 に割り当て得る。購入者の口座がその金額未満である場合、決済サーバ 1 0 2 は、オンライン決済操作を行うことを拒否し得、例えば S M S および他の方法を使用することによって、決済処理に失敗したことを購入者 1 1 2 に知らせ得る。いくつかの実施形態において、決済サーバ 1 0 2 は、例えば残高不足等の、決済失敗の理由を提供し得る。

【 0 0 2 7 】

いくつかの実施形態において、購入者の口座残高は、凍結状態であり得る。このような場合、決済サーバ 1 0 2 は、現在の状態が安全であり、その金額を販売者指定口座 1 2 0 に割り当てることができるかと判定し得る。決済サーバ 1 0 2 は、次いで、決済額 1 2 8 に対応する購入者の口座残高のその金額の凍結を解除し、凍結を解除した金額（例えば、決済額 1 2 8）を販売者指定口座 1 2 0 に割り当て得る。決済サーバ 1 0 2 は、決済額 1 2 8 に等しい資金の一部分だけしか凍結を解除し得ないので、購入者の口座残高の安全性が確保される。

【 0 0 2 8 】

いくつかの実施形態において、その金額を販売者指定口座 1 2 0 に割り当てた後に、決済サーバ 1 0 2 は、S M S および他の方法を使用することによって、購入者 1 1 2 が商品および/またはサービスの代金を支払ったことを販売者 1 1 8 に知らせ得る。このような場合、決済サーバ 1 0 2 は、決済サーバへの登録時に購入者 1 1 2 に割り当てられる I D を送り得る。

【 0 0 2 9 】

いくつかの実施形態において、購入者 1 1 2 がオンライン取引に関して販売者 1 1 8 に連絡したいときに、購入者 1 1 2 は、オンライントレーディングプラットフォームを通して販売者 1 1 8 と接続し得る。このような場合、購入者 1 1 2 は、次の 2 つの I D を販売者 1 1 8 に提供し得る。1 つは、I D 1 と称される、決済サーバへの登録時に購入者 1 1 2 に割り当てられる I D であり、もう 1 つは、I D 2 と称される、販売者によって認識され得る購入者 I D である。販売者 1 1 8 は、I D 1 と I D 2 との間にローカルな対応関係を確立し、その対応関係を保存し得る。決済サーバ 1 0 2 から I D 1 を受け取った後に、販売者 1 1 8 は、保存された関係を利用して、対応する I D 2 を検索し得る。I D 2 が販売者 1 1 8 によって認識されると、商品および/またはサービスの代金を支払った購入者 1 1 2 が判定される。

【 0 0 3 0 】

2 1 2 で、決済サーバ 1 0 2 は、購入者の口座残高を更新し得る。いくつかの実施形態において、中間口座 1 0 8 は、決済サーバ 1 0 2 によって維持され得る。このような場合、購入者 1 1 2 の口座残高に変化があるときに、決済サーバ 1 0 2 は、中間口座 1 0 8 の対応する表を更新し得る。中間口座の内容は、購入者の口座残高のリアルタイムコンテンツを反映し得る。

【 0 0 3 1 】

いくつかの実施形態において、販売者 1 1 8 は、中間口座 1 0 8 に対して同じ程度で複数の限度額 1 2 6 を定義し、各限度額 1 2 6 について決済額 1 2 8 を定義し得る。このような場合、購入者 1 1 2 は、例えば販売者 1 1 8 によって提供される割引を受け取るために、一度に複数の資金を割り当て得る。

【 0 0 3 2 】

販売者 1 1 8（I D を X とする）が、1 0 0 0、1 5 0 0、2 0 0 0 として別々に 3 つの最低限度額を定義すると仮定する。さらに、1 0 0 0 の限度額に対する対応する決済額が 1 0 0 であり、1 5 0 0 の限度額に対して 9 0 であり、2 0 0 0 の限度額に対して 8 0 であると仮定する。結果として、1 0 0 0 以上の 1 回限りの金額を割り当てるとき、購入者 1 1 2 は、販売者から商品および/またはサービスを受け取った後に、1 0 0 を支払う

10

20

30

40

50

。同様に、購入者 1 1 2 は、1 5 0 0 の割り当てに対して 9 0 を支払い、2 0 0 0 の割り当てに対して 8 0 を支払う。

【 0 0 3 3 】

Y 1 という購入者 I D を有する購入者 1 1 2 が、販売者 1 1 8 とオンライン取引を行うことを所望するときに、購入者 1 1 2 は、1 5 0 0 の金額を中間口座 1 0 8 に割り当てる。決済サーバ 1 0 2 は、次いで、割り当て金額が販売者 1 1 8 によって定義される 3 つの限度額のいずれかに含まれるかどうかを判定する。結果として、決済サーバ 1 0 2 は、購入者が割り当てた 1 5 0 0 の金額を購入者の口座残高として設定し、次いで、それを凍結し得る。中間口座 1 0 8 の表は、図 6 の中間口座表 6 0 0 で示される。

【 0 0 3 4 】

購入者 1 1 2 から決済要求 1 3 4 を受け取った後に、決済サーバ 1 0 2 は、購入者指定口座 1 1 4 から中間口座 1 0 8 に、資金 1 3 0 を割り当てる準備をし得る。中間口座表 6 0 0 の内容を読み出した後に、決済サーバ 1 0 2 は、購入者 1 2 0 の 1 5 0 0 の初期割り当て額が、2 つの限度額の要件（限度額 1 0 0 0 および限度額 1 5 0 0 ）を満たすと判定し得る。判定された決済値の最小決済額に基づいて、決済サーバ 1 0 2 は、購入者の口座残高に対応する額（すなわち、9 0 ）を販売者指定口座 1 1 4 に割り当て得る。

【 0 0 3 5 】

限度額 1 2 6 および決済額 1 2 8 を同じ程度に定義することで、異なる購入者の取引要件が満たされ得る。いくつかの実施形態において、購入者 1 1 2 は、より良好な割引を得るために、販売者 1 1 8 との長期的なオンライン取引関係を有することを望み得る。決済後に購入者 1 1 2 の口座残高が減少し、初期限度額に到達できない場合であっても、決済サーバ 1 0 2 は、口座残高が開始されたときに定義された決済額（例えば、最高額）に基づいて、決済過程全体でそれを使用し続け得る。

【 0 0 3 6 】

図 7 は、オンライン決済を使用して取引を行うための実例となる過程 7 0 0 のフロー図である。7 0 2 で、決済サーバ 7 0 2 は、中間口座 1 0 8 を購入者指定口座 1 1 4 および販売者指定口座 1 2 0 と関連付け得る。いくつかの実施形態において、決済サーバ 1 0 2 は、限度額 1 2 6 および決済口座 1 2 8 に基づいて、中間口座 1 0 8 を生成し得る。このような場合、決済サーバ 1 0 2 は、受領者 I D として販売者 I D を記録し、支払人 I D として購入者 I D を記録し得る。いくつかの実施形態において、購入者 1 1 2 が中間口座の複数の販売者に結び付けられるときに、販売者 1 1 8 は、チェーン特性を伴う販売者を含み得る。

【 0 0 3 7 】

7 0 4 で、決済サーバ 1 0 2 は、購入者 1 1 2 から決済要求 1 3 4 を受け取り得る。購入者 1 1 2 および販売者 1 1 8 は、オンライン取引を開始し得る。オンライン取引が成功した場合（購入者 1 1 2 が、販売者 1 1 8 によって提供される商品および／またはサービスを受け取ることを含む）、購入者 1 1 2 はオンライン決済操作を行い得る。オンライン取引が失敗した場合（購入者 1 1 2 が、オンライン取引を停止すること、または販売者 1 1 6 が、オンライン取引を停止することを含む）、購入者 1 1 2 は、オンライン決済操作を行い得ない。

【 0 0 3 8 】

いくつかの実施形態において、決済要求 1 3 4 は、購入者によって提供される認証パラメータを含み得る。認証パラメータに基づいて、決済サーバ 1 0 2 は、購入者に関する識別子認証を行い得る。認証が失敗した場合、決済サーバ 1 0 2 は、オンライン決済過程を実行することを拒否し得る。認証パラメータは、決済サーバ 1 0 2 への登録時に購入者 1 1 2 に与えられるユーザ I D およびパスワードであり得、また、購入者 1 1 2 の識別子を認証するために使用することができる他の正規のパラメータを含み得る。

【 0 0 3 9 】

7 0 6 で、決済サーバ 1 0 2 は、決済要求 1 3 4 の支払者 I D および受領者 I D を取り出し得る。7 0 8 で、決済サーバ 1 0 2 は、支払者 I D および購入者 I D を比較し得、ま

10

20

30

40

50

た、受領者IDおよび販売者IDを比較し得る。それらが一致する場合（すなわち、708からの「はい」分岐）、決済サーバ102は、決済額128が購入者の口座残高以下であるかどうかを判定し得る。IDが一致しない場合（すなわち、708からの「いいえ」分岐）、714で、決済サーバ102は、オンライン取引を取り消し、購入者112および販売者118に知らせ得る。

【0040】

710で、決済額が中間口座の口座残高以下であるかどうかを判定する。決済額128が購入者の口座残高以下である場合（すなわち、710からの「はい」分岐）、決済サーバは、712で、対応する資金額を販売者指定口座120に割り当て得る。決済額128が購入者の口座残高よりも大きい場合（すなわち、710からの「いいえ」分岐）、決済サーバ102は、714で、オンライン取引を取り消し、購入者112および販売者118に知らせ得る。

10

【0041】

いくつかの実施形態において、決済サーバ102は、購入者112と関連付けられる中間口座108の全ての資金を凍結し得る。決済サーバは、決済額128と同額である中間口座108の金額の凍結を解除し得、残りの金額は、凍結されたままである。このような場合、決済サーバ102は、凍結を解除した額を販売者指定口座114（例えば、販売者のオンラインバンク口座）に割り当て得、口座の1回限りの凍結および複数の凍結解除を実現する。

【0042】

20

決済サーバ102が、中間口座108から販売者指定口座114に、資金を割り当てた後に、決済サーバ102は、1回限りのオンライン決済操作を計算し得る。

【0043】

716で、決済サーバ102は、販売者指定口座114に割り当てられる金額に基づいて、購入者の口座残高を更新し得る。いくつかの実施形態において、購入者112は、所定の期間および/または特定の時間に購入者の口座残高を補充するように、決済サーバ102に要求し得る。このような場合、購入者は、決済サーバ102にログインし、購入者ID、販売者ID、および補充額を決済サーバの補充ウェブページに入力し、そして、購入者指定口座114から決済サーバの中間口座108に、該補充額を割り当て得る。決済サーバ102が購入者の割り当てた金額を受け取った後に、決済サーバ102は、購入者IDおよび販売者IDに基づいて、図3の中間口座表300から図6の中間口座表600への購入者の口座残高を判定し、口座残高をリフレッシュし得る。

30

【0044】

いくつかの実施形態において、販売者および購入者は、任意のときにオンライン取引を終了し、購入者の口座残高を返還するよう決済サーバ102に要求する。このような場合、購入者は、購入者の口座残高の返還を要求し得る。購入者112は、割引を取得するために、より大きい金額を中間口座108に割り当て得るので、販売者は、金額の一部分だけを返還するよう要求し得る。例えば、販売者は、購入者に対する返還率（例えば、90%）を判定し得る。返済表は、図8の中間表800として示される。返還率は、図3～図6の中間口座表300、400、500、および600に記録することができる。

40

【0045】

決済サーバ102が、販売者118から購入者112に、残高を返還する要求を受け取ると、決済サーバ102は、中間口座108の残高の全ての資金を購入者指定口座114に割り当て得る。返済表は、図9の中間口座表900で示される。

【0046】

いくつかの実施形態において、オンライン取引は、グループ購入事業を含み得る。このような場合、販売者118は、販売者118が送るオンライン決済内容の中の購入者の最低金額を決済サーバに提出し得る。決済サーバ102は、最低金額を図3の中間表300の条件フィールドに記録し得る。購入者が資金を決済サーバ102に割り当てるときに、決済サーバ102は、購入者IDと口座残高との間の対応関係を直ちに確立し得るのでは

50

なく、むしろ、決済サーバ102は、販売者118とオンライン取引を行うときに、資金割り当て要求および購入者の金額の記録を開始させ得る。購入者の金額が最低金額に到達したときに、決済サーバ102は、次いで、各購入者IDおよび口座残高の対応関係確立し得る。次いで、購入者および販売者は、オンライン取引を行い得る。

【0047】

図10は、図1のコンピューティング環境に含まれる種々の構成要素の実例となるコンピューティングデバイス1000のブロック図である。決済サーバ102は、任意の好適なサーバ(複数可)として構成され得る。1つの例示的な構成において、決済サーバ102は、1つ以上のプロセッサ1002と、入力/出力インターフェース1004と、ネットワークインターフェース1006と、メモリ1008とを含む。

10

【0048】

メモリ1008としては、ランダムアクセスメモリ(RAM)等の揮発性メモリの形態、および/またはリードオンリーメモリ(ROM)またはフラッシュRAM等の不揮発性メモリの形態のコンピュータが読み出し可能な媒体が挙げられる。メモリ1008は、コンピュータが読み出し可能な媒体の一例である。

【0049】

コンピュータが読み出し可能な媒体としては、コンピュータが読み出し可能な命令、データ構造、プログラムモジュール、または他のデータ等の情報を格納するための任意の方法または技術で実現される、揮発性および不揮発性媒体、リムーバブルおよび非リムーバブル媒体が挙げられる。コンピュータ記憶媒体の例としては、相変化メモリ(PRAM)、スタティックランダムアクセスメモリ(SRAM)、ダイナミックランダムアクセスメモリ(DRAM)、他のタイプのランダムアクセスメモリ(RAM)、リードオンリーメモリ(ROM)、電氣的消去可能プログラマブルリードオンリーメモリ(EEPROM)、フラッシュメモリ、もしくはその他メモリ技術、読み出し専用コンパクトディスク(CD-ROM)、デジタル多用途ディスク(DVD)、もしくは他の光記憶装置、磁気カセット、磁気テープ、磁気ディスク記憶装置、もしくは他の磁気記憶デバイス、またはコンピューティングデバイスによってアクセスするための情報を記憶するために使用することができる、任意の他の非伝送媒体が挙げられるが、これらに限定されない。本明細書で定義されるように、コンピュータが読み出し可能な媒体は、変調データ信号および搬送波等の一時的媒体は含まれない。

20

30

【0050】

さらに詳細にメモリ1008を参照すると、メモリ1008は、口座生成モジュール1010、関係確立モジュール1012、要求受領者モジュール1014、決済モジュール1016、更新モジュール1018、凍結/凍結解除モジュール1020、および残高返済モジュール1022を記憶し得る。

【0051】

口座生成モジュール1010は、販売者118によって決定される限度額126および決済額128に基づいて、中間口座108を生成し得る。いくつかの実施形態において、口座生成モジュール1010は、中間口座108を記憶するためのメモリ空間を開放し、中間口座108をメモリ空間の中の表に記憶し得る。口座生成モジュール1010はまた、限度額126および決済額128も、中間口座108および購入者指定口座114、ならびに販売者指定口座120によって指定されるフィールドに入力し得る。

40

【0052】

関係確立モジュール1012は、中間口座の資金130が限度額126以上であるときに、中間口座108の資金130を中間口座108の購入者の口座残高に指定し得る。いくつかの実施形態において、関係確立モジュール1012は、販売者118が複数の限度額126があると判定するときに、各限度額126の対応する決済額を判定している。次いで、決済サーバ102は、中間口座からの購入者の割り当て金額が限度額の少なくとも1つ以上であるかどうかを確認し得る。「はい」である場合、決済サーバ102は、資金130を中間口座108の購入者の口座残高として得ることができる。

50

【 0 0 5 3 】

決済モジュール 1 0 1 6 は、販売者 1 1 8 によって決定される複数の限度額 1 2 6 の中から、中間口座 1 0 8 からの資金 1 3 0 以下である限度額 1 2 6 を検索し得る。決済モジュール 1 0 1 6 はまた、見つかった限度額 1 2 6 に対応する決済額 1 2 8 も判定し得る。そして、判定された決済額 1 2 8 の中からの最も小さい決済額に基づいて、中間口座 1 0 8 の購入者 1 1 2 の口座残高に対応する資金 1 3 0 が、販売者によって指定される口座に割り当てられ得る。

【 0 0 5 4 】

いくつかの実施形態において、中間口座が販売者および購入者と接続している中間口座であるときに、決済モジュール 1 0 1 6 は、決済要求 1 3 4 から支払者 ID および受領者 ID を取り出し得る。支払者 ID が購入者 ID であるときに、受領者 ID は、販売者 ID であり、また、決済額 1 2 8 は、中間口座 1 0 8 の購入者 1 1 2 の口座残高以下であり、対応する資金は、口座残高から販売者指定口座 1 2 0 に割り当てられる。

10

【 0 0 5 5 】

要求受領者モジュール 1 0 1 4 は、購入者 1 1 2 によって送られる決済要求を受け取り得る。決済モジュール 1 0 1 6 は、決済額 1 2 8 に基づいて、販売者によって、購入者 1 1 2 の口座残高から販売者指定口座 1 2 0 に、対応する資金を割り当て得る。更新モジュール 1 0 1 8 は、中間口座 1 0 8 の購入者 1 1 2 の口座残高を更新し得る。

【 0 0 5 6 】

いくつかの実施形態において、凍結 / 凍結解除モジュール 1 0 2 0 は、中間口座 1 0 8 の購入者の口座残高を凍結し得る。凍結 / 凍結解除モジュール 1 0 2 0 は、資金を販売者指定口座 1 2 0 に割り当てるときに、決済値と同一または同等である購入者の口座残高の資金を凍結し得る。

20

【 0 0 5 7 】

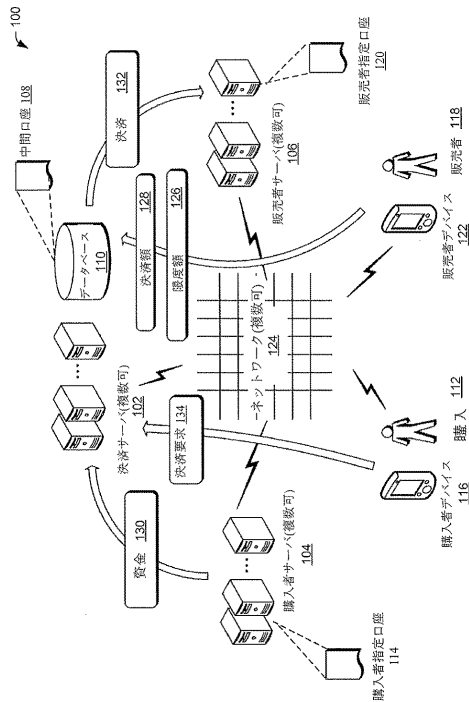
残高返済モジュール 1 0 2 2 は、中間口座 1 0 8 の購入者の口座残高から購入者指定口座 1 1 4 に、資金の一部を割り当て得る。そして、決済サーバ 1 0 2 が販売者から要求される残高返済を受け取るときに、残高返済モジュール 1 0 2 2 は、中間口座 1 0 8 の購入者の口座残高から購入者指定口座 1 1 4 に、全ての資金を割り当て得る。

【 0 0 5 8 】

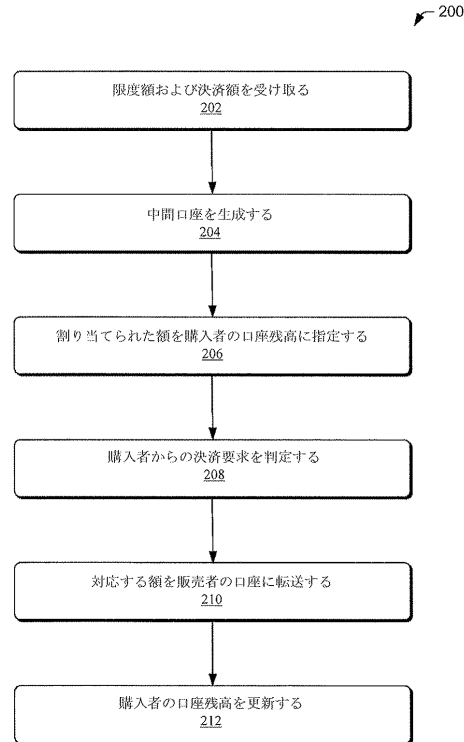
この開示の実施形態は、単に例示することを目的としたものであり、この開示の範囲を限定することを意図しない。当業者は、この開示で提供される実施形態に修正および変更を行うことができる。当業者が認識する任意の修正および変更は、この開示の範囲に含まれる。

30

【 図 1 】



【圖 2】



【圖 3】

フィールド名	フィールド タイプ	ブランク を許可?	フィールドの説明
ID	数値	N	主要
PRECHARGE_SERVICE_ID	数値	N	事前預金サービス ID
SELLER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者のメンバー ID
	VARCHAR2 (32)	N	限度値 1000
	VARCHAR2 (32)	N	決済値
ACCOUNT_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者によって指定 される口座の情報 (abc)
BUYER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	購入者のメンバー ID
SUM_INPOUR_FUND	数値 (19)	Y	総補充 単位: セント
AVAILABLE_FUND	数値 (19)	Y	口座残高 単位: セント
FREEZE_FUND	数値 (19)	Y	凍結残高 単位: セント
REFUND_FUND	数値 (19)	Y	返済額 単位: セント
CONSUME_FUND	数値 (19)	Y	総消費資金 単位: セント
GMT_CREATE	日付	N	作成日時
GMT_MODIFIED	日付	Y	変更日時
ENABLE	CHAR(1)	N	使用可能: N: いいえ, Y: はい

【 図 4 】

フィールド名	フィールドタイプ	blankを許可?	フィールドの説明
ID	数字	N	主要
PRECHARGE_SERVICE_ID	数字	N	事前預金サービス ID
SELLER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者のメンバーID X
	VARCHAR2 (32)	N	限度額 1000
	WARCHAR2 (32)	N	決済値 100
ACCOUNT_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者によって指定 される口座の情報 (abc)
BUYER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	購入者のメンバーID Y1
SUM_INPOUR_FUND	数字 (19)	Y	総補充額 単位: セント
AVAILABLE_FUND	数字 (19)	Y	口座残高 単位: セント
FREEZE_FUND	数字 (19)	Y	凍結残高 単位: セント
REFUND_FUND	数字 (19)	Y	返済額 単位: セント
CONSUME_FUND	数字 (19)	Y	総消費資金 単位: セント
GMT_CREATE	日付	N	作成日時
GMT_MODIFIED	日付	Y	変更日時
ENABLE	CHAR(1)	N	使用可能: N: いいえ, Y: はい

【圖 5】

500

フィールド名	フィールドタイプ	ブランクを許す?	フィールドの説明
ID	数字	N	主要
PRECHARGE_SERVICE_ID	数字	N	事前預金サービスID
SELLER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者のメンバーID X
	VARCHAR2 (32)	N	限度値 1000
	VARCHAR2 (32)	N	決済値 100
ACCOUNT_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者によって指定される口座の番号 (abc)
BUYER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	購入者のメンバーID Y1
SUM_INPOUR_FUND	数字 (19)	Y	総補充額 単位: セント
AVAILABLE_FUND	数字 (19)	Y	口座残高 単位: セント
FREEZE_FUND	数字 (19)	Y	凍結残高 単位: セント
REFUND_FUND	数字 (19)	Y	返済額 単位: セント
CONSUME_FUND	数字 (19)	Y	総消費資金 単位: セント
BUYER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	購入者のメンバーID Y2
SUM_INPOUR_FUND	数字 (19)	Y	総補充額 単位: セント
AVAILABLE_FUND	数字 (19)	Y	口座残高 単位: セント
FREEZE_FUND	数字 (19)	Y	凍結残高 単位: セント
REFUND_FUND	数字 (19)	Y	返済額 単位: セント
CONSUME_FUND	数字 (19)	Y	総消費資金 単位: セント
GMT_CREATE	日付	N	作成日時
GMT_MODIFIED	日付	Y	変更日時
ENABLE	CHAR(1)	N	使用可能: N: いいえ, Y: はい

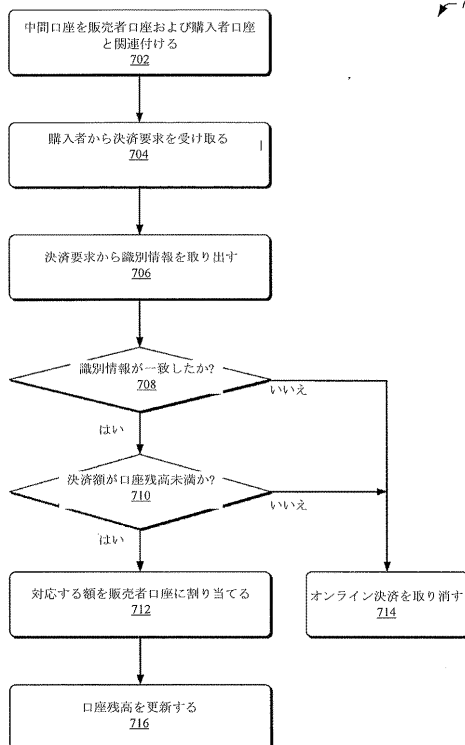
【 図 6 】

600

フィールド名	フィールドタイプ	ブランクを許可?	フィールドの説明
ID	数字	N	主要
PRECHARGE_SERVICE_ID	数字	N	事前預金サービス ID
SELLER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者のメンバーID X
	VARCHAR2 (32)	N	限度値 1000
	VARCHAR2 (32)	N	決済値 100
	VARCHAR2 (32)	N	限度値 1500
	VARCHAR2 (32)	N	決済値 90
	VARCHAR2 (32)	N	限度値 2000
	VARCHAR2 (32)	N	決済値 80
ACCOUNT_ID	VARCHAR2 (32)	N	販売者によって指定される口座の情報 (abc)
BUYER_MEMBER_ID	VARCHAR2 (32)	N	購入者のメンバーID Y1
SUM_INPOUR_FUND	数字 (19)	Y	総補充額 単位: セント
AVAILABLE_FUND	数字 (19)	Y	口座残高 単位: セント
FREEZE_FUND	数字 (19)	Y	凍結残高 単位: セント
REFUND_FUND	数字 (19)	Y	返済額 単位: セント
CONSUME_FUND	数字 (19)	Y	総消費資金 単位: セント
GMT_CREATE	日付	N	...作成日時...
GMT_MODIFIED	日付	Y	変更日時
ENABLE	CHAR(1)	N	使用可能: N: いいえ... Y: はい

【圖 7】

700



【圖 8】

800

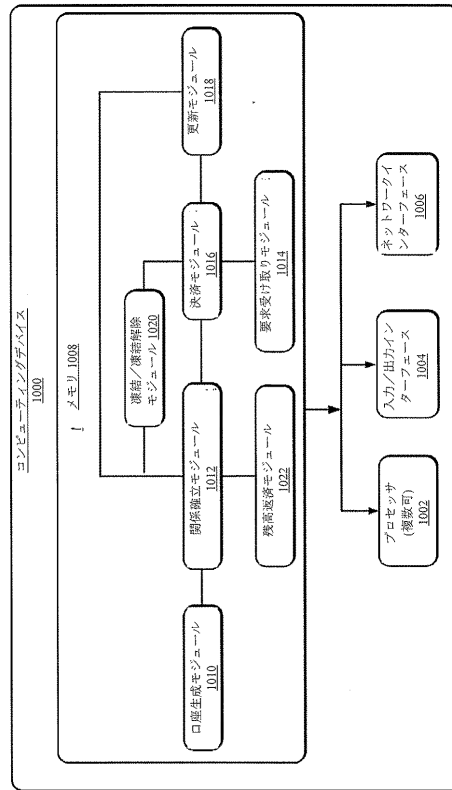
操作	疾病口座				購入者によって指定された口座			
	総増減値	使用可能 公債	減額 見込	総返済額	一時的買渡	使用可能 公債	減額 見込	購入者によって指定された口座
購入者の増充 1000	+1000	+1000	0	0	0	-1000	+1000	0
購入者の返済		0	0	+1000		+900		+100

【図 9】

900

操作	決算口座				購入者によって開設された口座			
	総捕収値	使用可能高	凍結高	総返済額	使用可能高	凍結高	返済額	凍結高
購入者の捕収1000	+1000	+1000	0	0	-1000	+1000	0	0
購入者の返金		0	0	+1000	+1000			

【図 10】



フロントページの続き

(72)発明者 ニエ チオンリン

中華人民共和国 310013 ハンチョウ ウェン アル ロード ナンバー 391 ザ ウ
 エスト レイク インターナショナル プラザ オブ エスアンドティー ビルディング エー
 10/エフ アリババ グループ リーガル デパートメント内

(72)発明者 ヤン リアン

中華人民共和国 310013 ハンチョウ ウェン アル ロード ナンバー 391 ザ ウ
 エスト レイク インターナショナル プラザ オブ エスアンドティー ビルディング エー
 10/エフ アリババ グループ リーガル デパートメント内

(72)発明者 フアン レンチェン

中華人民共和国 310013 ハンチョウ ウェン アル ロード ナンバー 391 ザ ウ
 エスト レイク インターナショナル プラザ オブ エスアンドティー ビルディング エー
 10/エフ アリババ グループ リーガル デパートメント内

(72)発明者 ジャン ヤオ

中華人民共和国 310013 ハンチョウ ウェン アル ロード ナンバー 391 ザ ウ
 エスト レイク インターナショナル プラザ オブ エスアンドティー ビルディング エー
 10/エフ アリババ グループ リーガル デパートメント内

(72)発明者 ウェイ ペン

中華人民共和国 310013 ハンチョウ ウェン アル ロード ナンバー 391 ザ ウ
 エスト レイク インターナショナル プラザ オブ エスアンドティー ビルディング エー
 10/エフ アリババ グループ リーガル デパートメント内

(72)発明者 マー シアオロン

中華人民共和国 310013 ハンチョウ ウェン アル ロード ナンバー 391 ザ ウ
 エスト レイク インターナショナル プラザ オブ エスアンドティー ビルディング エー
 10/エフ アリババ グループ リーガル デパートメント内

(72)発明者 ワン チュン

中華人民共和国 310013 ハンチョウ ウェン アル ロード ナンバー 391 ザ ウ
 エスト レイク インターナショナル プラザ オブ エスアンドティー ビルディング エー
 10/エフ アリババ グループ リーガル デパートメント内

審査官 長 由紀子

(56)参考文献 特開2001-101271(JP,A)

特開2003-178242(JP,A)

特開2005-250899(JP,A)

特開2008-310528(JP,A)

米国特許出願公開第2002/0161707(US,A1)

米国特許出願公開第2006/0101115(US,A1)

米国特許出願公開第2007/0293202(US,A1)

特開2001-351041(JP,A)

特開2003-016368(JP,A)

特開2002-140645(JP,A)

特表2009-510589(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 20/40

G06Q 20/08